

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 447

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町 1-943 番地	Tel. 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	Tel. 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	Tel. 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	Tel. 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	Tel. 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	Tel. 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	Tel. 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	Tel. 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	Tel. 042-313-6269



あさやけ鷹の台作業所の玄関扉を開くと、結束や統合機械の音と一緒に、みんなの元気な声や笑い声が聞こえ活気のある雰囲気伝わってきます。ダイレクトメールの仕事を一日何千通もやるのですが、明るさと誇らしさが感じられます。

ダイレクトメールの仕事

あさやけ鷹の台作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

毎日、あいさつ

三溝 啓介くん
(あさやけ第二作業所)



今月二月四日にきょうされん東京支部第二回実践交流会i nふちゅうが開催されました。前回の第一回大会はこだらで行われ、二〇〇名を超える参加者で熱気あふれる交流会になりましたが、今回も「学びたい」という強い意志を持った方々がたくさん集まり、大盛況な交流会になりました。

私は働く分科会「さまざまな障害のある人たちのニーズにどう答えたのか」に参加をしました。ここでは五つのレポートが出され、それぞれの事業所での取り組みの報告がありました。どの報告も毎日現場で支援している私にとって は心に響くものばかりでしたが、すべての報告に共通していたことは、どんな障がいがある方でも、どれだけ障がい重い方でも「働きたい」、「作業所に通いたい」という思いがあるならば、私たちはしっかりとその声に応え、日々の活動を保障していく必要があります。この仕事はこの人には「できない」と決めつけるのではなく、つまずいている原因を探ることや自助具を使うなどして工夫をし、「どうやったらできるのか」を辛抱強く考えることが大事ということです。これは日頃のあさやけ作業所でも大切に行っていることで、支援の方向性が間違っていないということを再認識することができました。今の世の中は効率を求め、すぐにできるかできないか、無

きょうされん東京支部実践交流会に参加して

あさやけ作業所
石毛 慎一

駄があるかないかなど人間を物差しで測り、振り分けようとするやり方が現実起こっているいろいろな場面を感じ取ることができません。やまゆり園の事件では何もできない障がい者は邪魔者だという風潮が一部にあることも残念ながら明らかになりました。障がいがあるうとなかろうと一人一人に生きる権利、働く権利はあり、それを大切にできる世の中を私たちはつくっていかなくてはなりません。そのためにも今回の交流会のようにみんなが集まり、学びを深め、思いを確認し合うことが重要で、それが財産となって今後の私たちの湧き上がるエネルギーにつながるのだからと実感しています。

私たちの仕事は仲間の支えあいがあるからこそ乗り越えられる決して簡単ではない業務です。そのため、日々の支援でしっかりと実践を積み重ね、それをみんなで共有し、足下を一つ一つ固めながら進んでいくことが大切だと考えています。そして、その力をいろいろある局面での運動につなげ、障がいの種別や程度に関わらず、地域で当たり前暮らしという権利を守っていけるよう、今後も努力していきたいと思えます。

夕方四時に作業が終わると、三溝さんは事務室にやってきました。三溝さんは、今日はさんぼんすぎをしました。がんばりました。お疲れ様でした。」

毎日きちんと挨拶して帰ります。三溝さんがあさやけにやってきたのは五ヶ月ほど前、入ったばかりの頃は作業の手順がわからず苦労していました。そんな律儀な三溝さんですが、あさやけ第二作業所では主に挟み込み作業をしています。

挟み込み作業は、さんぼんすぎという冊子の決まった場所に決まった数のちらしを入れて、整えてから数冊まとめて計り台に運びます。ちらしを挟み込む位置や整え方、計り台のどこにどうやって運ぶのか、判断が必要です。さんぼんすぎやちらしを自分の場所に運ぶ時にも、今はどこからどれだけの量を持つてくるのが適

当かなど、三溝さんは毎日ひとつひとつ覚えてきました。公園清掃も、寒い中一生懸命掃除をしています。家では自分の部屋しか掃除しないそうですが、なかなか希望者の出ない特別清掃班に自ら手を上げ、周りの人の動きを見て仕事を覚えていきます。公園清掃に楽しみを感じているようです。

忘年会やポータス外出、クラブ活動も参加し、楽しんでいきます。ポータス外出では今までに食べたことのないくらい大きなステーキを食べたと喜んで笑っていました。

今、はまっているのはインターネットで電車の動画を見ることが。それを編集することだそう。朝の通勤の時は、たまに電車を見に行ってしまうこともあるくらい電車を見ることも好きだそう。きちんと挨拶をして、さんぼんすぎを挟み込んで、毎日三溝さんはとてもがんばっています。



作業風景

給料を稼ぐために、たくさん仕事を頑張る ～あさやけ鷹の台作業所のダイレクトメール作業～

1日に3000件を

あさやけ鷹の台作業所は、「沢山仕事をして工賃を稼ごう」と一体になって仕事をしています。主力作業のダイレクトメール作業は1日3000件近くこなしています。

ダイレクトメール作業は、毎回納品日が異なる為、2日位で作業が変わります。作業工程は、帳合い・封入・封緘・ラベル貼りと進みます。作業が円滑に進むためには、それぞれの工程がまんべんなく進むことが必要です。それぞれ所員のペースを考え、帳合い・封入・封緘・ラベル貼りとそれぞれのスピードに合わせて、所員が別々の作業を行う事があります。

その作業がどのように流れているかを見ながら、偏った作業にならないように作業を進めていく事が大切です。



検品

所員一人一人に合わせた働きかけ

言葉だけの働きかけ・見本を置いておく・一緒にやってみるなど・所員それぞれに合わせた工夫をしています。2点以上の帳合いが難しい所員は、「やらない」ではなく、どのように部材を取るのか？どのように部材を重ねるのか？と一緒に作業を行う事で確認して所員が作業を行いやすいように考えています。封緘では、どこに苦手意識があるかを感じて目印を確認するなど何度も一緒に行います。

所員のスピードは違いますが、どんな作業でも出来ない事はない。どのようにすれば出来るようになるのかを所員と一緒に作業をすることで見て感じ、声掛けのタイミングを見ながら出来るようになるよう時間をかけます。

職員が大切にしていること

どの作業も所員が中心となるよう「やりすぎない」「考えてもらう」「職員に質問できる」を考えながら作業を工夫しています時間はかかる人もいますが、誰でもどの工程も必ず出来る様になると信じ働きかけもしています。一人一人働く力がちがうなかで、その力量を把握するには、職員も一緒に働き日々の変化を感じ取り、声掛けのタイミングや五感を感じる事が必要と感じています。



封入



封緘



ラベル貼



折り

共同ホームさらさの新施設建設工事順調に進む ～建物の竣工3月末、ホーム開設5月の予定～

ときわ会の六番目のホームとして10月17日に着工した共同ホームさらさの新施設建設は順調に工事が進み、2月はじめには足場も撤去され、建物外観がみられるようになりました。完成は3月末の予定で、4月の1ヶ月間を準備期間として、5月からの入居となります。さらさは女性のホームとして計画し、定員は5名です。入居する5名の方も決まり、開設を待っています。ホームの名称「さらさ」は、法人内で名称を募集して、多数の応募作品のなかから選考して決められました。「ひとりひとりの個性を発揮して、ホームの生活・その人の人生を織りなして」の意味を込めています。



1階平面図



2階平面図

ホームの概要

住 所	小平市小川東町5丁目2063番地
敷 地	162.70㎡
構 造	木造2階建
建築面積	94.40㎡
延床面積	173.90㎡
居室数	5室（居室面積10.24㎡～11.17㎡）
消化設備	スプリンクラー設備、自動火災報知設備 消防機関へ通報する火災報知設備

あたりまえに働き えらべるくらしを ～障害者権利条約を地域のすみずみに～

「がんばるデー」に駅頭で利用者・父母・職員と一緒に署名活動

今年度で40回目を迎えるきょうされん国会請願署名・募金運動ですが、ときわ会では目標を署名1万2千筆、募金100万円とし、昨年は月一回の開催だった街頭署名活動（がんばるデー）も月二回に増やしました。今回はあさやけ作業所の父母の方々にもご参加頂き、これまで以上に活気のある運動となりました。私自身、初めての参加となりましたが、一人一人に直接声をかけることで、まずは私たちの想いを知ってもらい、地域の方々に応援して頂くことの大切さを改めて感じることができました。

岩田 輝久（あさやけ風の作業所職員）



参加した父母の感想

街頭での署名活動は、今まで経験したことがありませんでしたので、何かできることがあるのか不安に思いながらも参加させて頂きました。寒い中、立ち止まって協力して下さる方が、思っていたよりもたくさんいらっしゃいました。大変有り難く、心が暖まる感じがしました。ほんの少しですが、子供達のためにお手伝いできてよかったです。また、この活動が地域の方々にあさやけ作業所を知っていただけるきっかけにもなりましたら嬉しいです。

浜 実恵

手が御不自由そうな老婦人が財布を開けて下さったこと、知人にもおられますからとベビーカーをとめて下さった若いお母さん。東京は風速20メートルの寒い日でしたが、人の善意を心より感じられた一日でした。」

海老澤 恵美子

参加した利用者の感想

今年の駅頭署名は、全6回のうち3回が終わりました。3回を考えると、あさやけ作業所の父母たちが、駅頭署名に参加してくれたことによって、参加者も増えて嬉しかった。あと、僕の想いを原稿にして職員が原稿を読んでくれました。

柳原 昭三



新メニュー、ホットサンドのソーセージキャベツとミートポテトチーズができました。
 ニサラゲとスープがついています。好評です。カレー（野菜、なすキーマ、ビーフ、ほうれん草）もあ出ししています。
 ビケルス、サラダ付き。本格派です。ぜひいらしてください。

CAZECAFE なかまち

住 所 小平市仲町145 なかまちテラス 1F

営業時間 11:00～17:00 (ラストオーダー 16:30) 定休日 金曜日 第三木曜日

緊急
出版

生きたかった ～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～

7月26日未明に相模原の「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件。全国の障害当事者・家族・職員等関係者に戦慄が走りました。この事件について、もっと深くひろい視点から捉え直し、本質に迫りながら、二度と同じ過ちがくり返されないように、社会にひろげ、変えていく運動が求められています。各地でこの書籍を通し、学び、考え、活発な意見交換をしていただきたいと考えています。

- 藤井克徳・池上洋通・石川満・井上英夫 編
 (コラム欄にきょうされん関係の当事者と職員が多数執筆されています)
- 発行: 大月書店
- 出版日: 12月16日
- A5判・160ページ
- 価格: 1,512円(税込)



廃品回収のお知らせ

1月の廃品回収の回収量は12,740kgでした。内訳は新聞9,310kg、雑誌・ダンボール3,430kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて188,160円でした。

次回は3月18日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。